

令和元年度 関水コン技術講座 実施報告書
～改正水道法と水道基盤強化への取り組みについて～

1. 関水コン技術講座の概要

日本の水道は、普及率 97.9%を達成し、これまでの水道の拡張整備の時代から水道の基盤を確固たるものとしていくことが求められる時代に変化しています。一方で、老朽化した水道施設の更新や耐震化の遅れ、漏水事故や断水リスクの高まり、人口減少による経営状況の悪化や小規模で脆弱な水道事業者では水道サービスを継続できない恐れが生じるなど、水道事業は深刻な課題に直面しています。

こうした状況を踏まえ、今回の改正水道法では、国・都道府県・市町村の責務を明確にし、都道府県を広域化の推進役とする内容が盛り込まれています。また、広域化を実現することで、経費削減や組織体制の強化等が見込め、水需要の減少に伴い過剰となった施設の統廃合等を通して、事業費を縮減していくことが併せて期待されています。

令和元年度の関水コン技術講座では、上記のようなわが国における水道事業の状況を鑑み、二名の専門講師をお招きし、改正水道法や広域連携の具体的な取り組み内容等についてご紹介頂きました。

■ 関水コン技術講座のプログラム

I. 日 時 令和元年 10 月 3 日（木） 13:30～16:25

II. 講演会 講演 1 : 「改正水道法の施行とコンサルタントへの期待」

講師 : (公財) 給水工事技術振興財団

専務理事

石飛 博之 氏

講演 2 : 「奈良県における水道事業広域連携の取り組みについて」

講師 : 奈良県水道局 業務課

広域水道一体化推進担当

浦山 博幸 氏

会 場 : 昭和設計大阪ビル 2 階 会議室

2. 出席者の状況とアンケート調査結果

出席者は、95 名の申し込みに対し、当日、協会員 30 名、地方公共団体 23 名、他コンサル 1 名、メーカー 39 名の計 93 名に加え、主催者・講師 10 名、報道関係 4 名、計 107 名の参加となった。

アンケート調査では、68 名の方から回答を頂いた。この内訳は、関水コン講習会への初参加の方が 48 人 (72%)、次いで 2 回目以上が 19 名 (28%) であった。また、演題に対する評価は、“参考になった”、“少し参考になった” が 2 題平均で 90%に達しており、改めて本テーマの適時性と PR 効果を確認した。

自由意見欄を覗くと、次のような意見が挙がっていた。

- ① 改正水道法のポイントが確認出来た。
- ② 現在、履行中の水道基盤強化の再確認ができた。
- ③ 実践してきた広域化を成立するアプローチに間違いがないことが確認できた。
- ④ 広域連携について、改正法の以前から広域化を進めてきた事業者の現状を知りたかった。
- ⑤ コンセッション方式が本当に有効なのか判断方法を知りたかった。

令和元年度 関水コン技術講座 アンケート集計結果

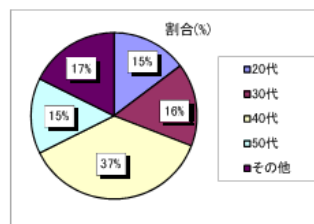
実施日： 令和元年10月3日（木）

◆ 技術講座について

1- (1) : 年齢

年代	人員 (人)	割合 (%)
20代	10	15%
30代	11	16%
40代	25	37%
50代	10	15%
その他	12	18%
計	68	100%

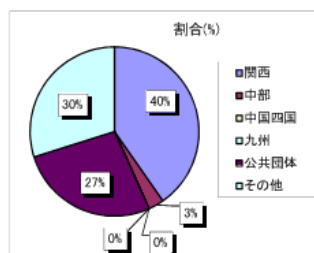
*無回答...無し



1- (2) : 所属

支部	人員 (人)	割合 (%)
関西	27	40%
中部	2	3%
中国四国	0	0%
九州	0	0%
公共団体	18	27%
その他	20	30%
計	67	100%

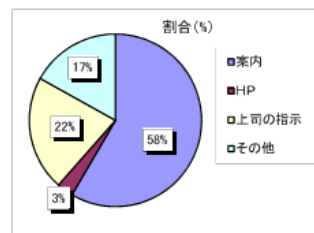
*無回答...1名あり



1- (3) : 出席動機

動機	人員 (人)	割合 (%)
案内	38	58%
HP	2	3%
上司の指示	14	22%
その他	11	17%
計	65	100%

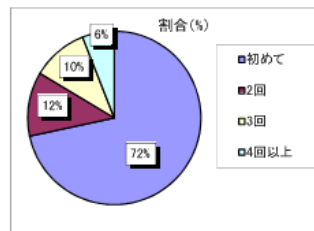
*無回答...3名あり



1- (4) : 参加回数

回数	人員 (人)	割合 (%)
初めて	48	72%
2回	8	12%
3回	7	10%
4回以上	4	6%
計	67	100%

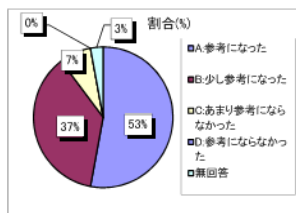
*無回答...1名あり



2- (1) : 個別内容評価

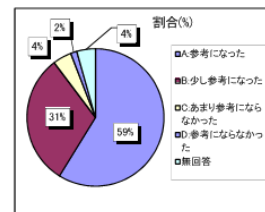
講演①「改正水道法の施行とコンサルタントへの期待」

ランク	人員 (人)	割合 (%)
A: 参考になった	36	53%
B: 少し参考になった	25	37%
C: あまり参考にならなかった	5	7%
D: 参考にならなかった	0	0%
無回答	2	3%
計	68	100%



講演②「奈良県における水道事業広域連携の取り組みについて」

ランク	人員 (人)	割合 (%)
A: 参考になった	40	59%
B: 少し参考になった	21	31%
C: あまり参考にならなかった	3	4%
D: 参考にならなかった	1	1%
無回答	3	4%
計	68	100%



3. 最後に

上下水道は、国民の生活や社会、経済活動を支える最も重要なインフラの一つですが、その事業環境は、厳しい状況にあります。そのような中、「改正水道法や水道基盤強化への取り組み」について、具体的な事例を交えて、考えていくことは非常に有意義なものでした。

また、改めてコンサルタントの存在意義を再認識し、これからの変化の激しい時代におけるコンサルタントの役割を考える上で、非常に有意義なものでした。

水コン協では、今後も上下水道事業へ貢献していくために、技術提供、有識者の知見や情報の共有について、講習会等を通して継続的に発信していくことが必要と考えております。

令和元年度 技術講座 会場の様子

= 開会の挨拶 北支部長 =



= 講演1 石飛講師 =



= 講演2 浦山講師 =



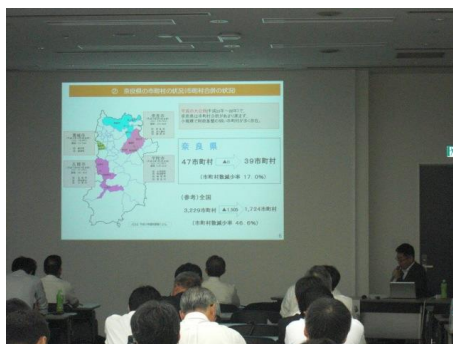
「改正水道法の施行とコンサルタントへの期待」

= 聴講の様子① =



「奈良県における水道事業広域連携の取り組みについて」

= 聴講の様子② =



= 閉会の挨拶 古屋技術部会長 =

